

令和2年度 調布市立若葉小学校 学校経営計画 (学校長 渡邊 桂子)

学校の教育目標

「かしこく やさしく たくましく」 ・しっかり考え、進んで学ぶ子 ・思いやりのある子 ・明るくたくましい子

目指す学校像(ビジョン)

【目指す学校像】

「子どものための学校」を基本に据え、子どもたちが学び育ち合う学校、教職員も教育の専門家として学び育ち合う学校、保護者・地域も教育活動に協力・参画して学び育ち合う学校づくりを推進し、協働で「花と笑顔のあられる学校」を目指す。

【目指す子ども像】

「進んで学び、自ら表現できる子ども(表現力)」 「優しい心を持ち、自分も他人も大切にできる子ども(協働する力)」
 「進んで挨拶するとともに、心身を鍛える子ども(健康増進力)」

【目指す教師像】

使命感(Sense of Mission)・行動力(Action)・情熱(Passion)を持ち、子ども第一主義を貫く教師

ビジョンの設定理由
(本校の現状と課題)

- ・子どもたちは明るく素直で、学習や行事などに意欲的に取り組む。6年間一貫指導による基本的な生活習慣の定着を図るとともに、自己肯定感を高め、学力・体力の向上を図っていく。
- ・経験年数の浅い教員が多いため、OJTを活用して、組織的に指導力向上を図っていく。
- ・保護者・地域は、学校の教育活動に協力的である。また、地域の諸団体の活動は活発である。「地域学校協働本部」を中心に、双方向のネットワークを構築していく。

中期的な経営目標

- 1 優しい心を持ち、自分も他人も大切にできる子どもを育成する。【協働する力の育成】
- 2 進んで学び、自ら表現できる子どもを育成する。【表現力の育成】
- 3 進んで挨拶するとともに、心身を鍛える子どもを育成する。【健康増進力の育成】
- 4 安全・安心な教育環境の整備をする。
- 5 読書活動の充実を図る。
- 6 保護者・地域との連携を図る。

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>

| 1 豊かな心(徳) | 2 確かな学力(知) | 3 健やかな体(体) |
|---|---|---|
| (1) 取組目標(具体的方策) ① 道徳科において、「自分の思いや考えを表現し、互いに認め合う子どもの育成」を目指した授業改善を行い、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。(通年) ② 一人一人のよさを引き出し伸ばす指導や、特別支援教育コーディネーター・特別支援教室専門員・スクールカウンセラー・スクールサポーター等を活用した、個に応じた支援を行い、自尊感情や自己肯定感を高める教育の充実を図る。(通年) | (1) 取組目標(具体的方策) ① 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、思考ツールを活用した思考の可視化を図りながら授業改善を行う。年7回の研究授業を通して検証する。 ② ICT教育機器を有効に活用した学習を充実させる。(通年) | (1) 取組目標(具体的方策) ① アスリートなどを講師として招聘し、オリンピック・パラリンピック教育を計画的に推進する。(2学期以降、2回以上) ② 体育科の授業の充実を図るとともに、エンジョイスportsなどの取組により、運動の日常化を図る。(通年) |
| (2) 成果目標(数値目標) ① 保護者アンケートにおいて、心の教育に関する肯定的評価90%以上。 ② 保護者アンケートにおいて、一人一人のよさを伸ばすことに関する肯定的評価90%以上。 | (2) 成果目標(数値目標) ① 保護者アンケートにおいて学習内容の理解に関する肯定的評価90%以上。 ② 学校関係者評価委員会において、肯定的評価を得る。 | (2) 成果目標(数値目標) ① 学校関係者評価委員会において、肯定的評価を得る。 ② 保護者アンケートにおいて、健康・体力増進に関する肯定的評価90%以上。 |

学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>

| 4 安全・安心な教育環境の整備 | 5 読書活動の充実 | 6 保護者・地域との連携 |
|--|--|--|
| (1) 取組目標(具体的方策) ① 定期的に児童アンケートを実施し、いじめの未然防止・早期発見に努め、組織的に対応する。(通年) ② 定期的な安全点検を徹底するとともに、月1回の安全指導・避難訓練を的確に実施する。また、食物アレルギー対応の確実な実施・新型コロナウイルス感染拡大防止の適切な対応に努める。(通年) | (1) 取組目標(具体的方策) ① 年1回の「読書月間」や、週1回の「おはよう読書」「保護者読み聞かせ」等を実施して豊かな感性を育む。(2学期以降) ② カリキュラム・マネジメントを活用し、国語科と読書活動を関連させ、言語活動の充実を図る。(通年) | (1) 取組目標(具体的方策) ① 地域学校協働本部の活動を充実させ、地域の環境や、保護者・地域の教育力を教育活動に生かす。(通年) ② 幼保小・小中など、校種間連携を推進するとともに、学校だよりや学校ホームページを活用して、学校情報を適時に分かりやすく発信する。(通年) |
| (2) 成果目標(数値目標) ① いじめの解消率100%。 ② 保護者アンケートにおいて、安全・安心に関する肯定的評価90パーセント以上。 | (2) 成果目標(数値目標) ① 保護者アンケートにおいて、読書活動に関する肯定的評価90%以上。 ② 学校関係者評価委員会において、肯定的評価を得る。 | (2) 成果目標(数値目標) ① 保護者アンケートにおいて、保護者・地域との連携に関する肯定的評価90%以上。 ② 保護者アンケートにおいて、学校からの発信に関する肯定的評価90%以上。 |

人材育成・組織運営

- ・主幹教諭・主任教諭・教諭等を、適材適所で各分掌に配置し、職務遂行上の目標を明確にさせる。そして、PDCAサイクルを短期間で回し、校務改善を進めるとともに、OJTを意図的・計画的に進める。
- ・効率的な職務遂行について意識化を図り、年2回、振り返りをして、取組を改善していく。